



わたしたちこんな活動しています

サークル紹介

絵手紙同好会

絵手紙で心の交流を
始めてみませんか？

●活動日

4月～12月の第1・3水曜

●活動場所

市民文化センター

●会費

年額 2,000円

●連絡先

なかた ただこ
中田 忠子さん

☎01654②4135



絵手紙同好会は、平成14年に行われた名寄市公民館主催の市民講座が終了した後に発足しました。現在は女性11人で活動しています。

絵手紙は、年齢に関係なく楽しめ、考える力を養ってくれます。同好会では「ヘタがいい、ヘタでいい」を合言葉に、会員同士で「ベースデーカード」を送りあうなど、とても楽しく絵手紙を描いています。

年間の主な活動内容としては、生涯学習フェスティバルへの参加や市民文化祭での作品展示のほか、年2回程度食事を開催し、会員同士の親睦を深めています。その他、依頼があればイベントに積極的に参加しています。

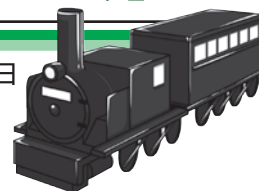
絵手紙で心の交流を始めてみませんか。興味のある方、体験希望の方は活動日に市民文化センター小会議室へぜひお越しください。お待ちしております。



名寄S1排雪列車 キマロキ保存会

名寄の財産「キマロキ」

- 活動日 5月～10月の日曜・祝日
- 活動場所 北国博物館
- 会費 無料
- 連絡先 北国博物館 ☎01654③2575



全国に名寄にしかないS1排雪列車キマロキは、全国的にS1が廃止された昭和50年に旧国鉄より無償貸与を受け、昭和51年10月から屋外展示を始めました。これをきっかけに、同年12月にキマロキ保存会が発足しました。

キマロキは、先頭で進む「機関車」、雪をかき集める「マックレー車」、雪を遠くへ飛ばす「ロータリー車」、後方で後押しする「機関車」の順に連結された排雪用編成列車の頭文字をとって、名づけられました。

保存会の主な活動はキマロキの維持管理で、日曜日や祝日に保守点検や一斉清掃などを行っています。あわせて見学者に活躍した当時の思い出を語り伝えていきます。

キマロキの歴史的価値と長年きれいに保存していることから、平成22年にJR北海道より準鉄道記念物の指定を受けました。キマロキの勇姿は迫力があり、全国各地から鉄道ファンが訪れています。平成27年にはキマロキが保存されてから40年という節目の年を迎えました。今後も名寄の財産であるキマロキの未長い保存のために活動していきます。

S1が好きな方、鉄道に興味がある方は、ぜひ一緒に活動しませんか。

「サークル紹介」では、市生涯学習課発行のサークル便利帳に掲載している団体を紹介しています。